

2016-B

VI53-B

拠出金・基金
の名称

Gaviワクチンアライアンス

種 別

☐ イヤマークのみ ☒ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】Gaviワクチンアライアンス

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国際保健政策室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

活動目的等：Gaviは開発途上国の予防接種率を向上させることにより、子どもたちの命と人々の健康を守ることを目的として設立された官民パートナーシップ。2000年にスイスで設立。

開発途上国を対象とし2016年からは新たに以下を目標として活動を行っている（2016-2020戦略目標）。

- 1 平等なワクチンの導入・普及と接種率の上昇の加速化
- 2 保健システム強化にあたり、その一部としての予防接種の効率性と有効性の向上
- 3 各国の予防接種プログラムの持続可能性の改善
- 4 ワクチン及び他の予防接種関連品の市場形成

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成28年度	2,300,000	19,167		1米ドル=120円	100%
平成27年度	2,063,536	18,759		1米ドル=110円	100%
平成26年度	2,527,179	26,053		1米ドル= 97円	100%

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

費用対効果の高い予防接種を安価に供給するための包括的取組を実施しているGaviへの拠出を通じて期待される主な効果は以下の2点：(1) Gaviへの拠出を通じた乳幼児死亡率の削減、(2) 2016-2020の次期戦略では、さらに3億人の人々に予防接種を行い、500-600万人の命を救うことを想定。G7伊勢志摩ビジョンでも言及されたGaviの取組に、日本も応分の貢献をすることで、地球規模課題に積極的に取り組む姿勢を示し、我が国の誠実な姿勢をアピールできる。なお、平成28年度補正予算は、世界への感染拡大が懸念される黄熱病の効果的な予防のため、Gaviワクチンアライアンスを通じて感染拡大地域での黄熱ワクチン接種活動の支援を実施。黄熱ワクチンの購入及びワクチンの効果的な運搬・保管のためのコールドチェーン機材を調達し、また、予防接種が効率的に実施されるための人材育成、保健システム強化を図るために計上した。

【備考】